

大いなる飛躍へ

 JA上川中央



**JA上川中央女性部**  
**フレッシュミス視察研修**

2017  
NO.114

発行・上川中央農業協同組合  
愛別町本町125  
Tel(01658)6-5315  
URL <http://www.ja-kamikawa.or.jp/>  
編集・営農部 営農振興課

9



## 道外の市場調査とコメ先物取引所との意見交換を JA上川中央役員道外視察研修

8月7日から10日までの4日間の日程で、近畿地方を中心に役員道外視察研修を実施いたしました。

初日は折しも台風5号が近畿地方に上陸し、付近一帯は暴風域に入っておりましたが、東京から陸路で京都入りという行程だったため、大きな遅れもなく最初の訪問先である京都青果合同（株）に入ることができました。

京果は、わが国で最初に開設された中央卸売市場で、今年90周年という歴史ある市場です。研修では、まず京野菜ブランド化の取組状況と近年の需給ニーズに合った流通対応等の課題について説明をいただきました。また、当JAが出荷している大根に対しては以前から高評価をいただいております。改めて当年産大根の出荷増を求められました。



2日目は「和菓子のソニー」と称され、大企業の経営者も学び訪れるという菓匠・叶匠寿庵（カクヨウ アン）の本社と工場がある滋賀県大津市の「寿長生（スイ）の郷」を見学しました。老舗がひしめく和菓子業界において、昭和33年創業という新興の和菓子づくりの本拠地は、6万7千坪の広大な自然の美しい敷地と数寄屋づくりの建物が調和した桃源郷の趣でした。

次の訪問先は三重県伊賀市の「伊賀の里モクモク手づくりファーム」です。銘柄豚「伊賀豚」を生産する数戸の養豚農家が中心となり、手作りハム・ソーセージの製造と販売を目的に設立されました。現在では、加工・販売施設のほかに米・野菜・果樹等の農場運営、農場レストラン、学習・宿泊施設、貸し農園等を展開する、いわば6次産業の先駆的農業法人であります。昼食のため訪れた農場レストランは、夏休み中ということもあり親子連れで賑わっていました。

午後からは、大阪堂島商品取引所を訪問し「コメ先物取引」の基礎研修を行いました。JAグループとしてはコメ相場の乱高下につながる可能性を嫌い、コメ先物には反対の立場を表明しておりますが、平成30年産以降、計画生産が崩れ主産地が増産に転じた場合や、JAに対し多様な販売手法が求められている状況を勘案するとき、今後の販売アイテムとしてコメ先物の活用も有効な取り組みと成り得るのか勉強させていただきました。今後、北海道産米が特定産地・銘柄として商品追加されるかが活用のポイントになると思われれます。

視察最終日は、淡路島農業技術研修センターを訪問しました。淡路の農業者は、狭小な耕地面積で所得を確保するため、夏耕作の水稻栽培にタマネギ、レタス、キャベツなど冬期温暖な気象条件を利用した露地野菜を組み合わせた田畑輪換の三毛作体系を展開しています。島内のいたる所にタマネギの伝統的な乾燥小屋（吊り小屋）が点在する風景は、大規模農業を展開する北海道の農業者の目には新鮮に映りましたが、高齢化・担い手不足に悩む当地の農業も、合理化・効率化による作業負担軽減策が課題のようです。

午後からは、JA直売所「あわじ島まるごと美菜恋来屋」を見学しました。大規模施設に淡路島産農畜産物や加工品が売られており、平日にもかかわらず多くの買い物客で賑わっていました。

今回、平成25年度以来4年ぶりの道外役員視察研修でしたが、理事・監事全役員参加のもと、大変有意義な研修を実施することができました。





## 仲間とのんびりとした時間を… 愛別地区年金友の会日帰り温泉旅行



7月21日 毎年恒例行事の年金友の会による日帰り旅行が会員58名の参加のもと実施されました。今年は芦別市の『道の駅スタープラザ芦別』に立ち寄り、『芦別温泉スターライトホテル』で会食、温泉で疲れを癒し親睦を深め、のんびりとした楽しいひとときを過ごしてまいりました。

年金友の会では、今後もいろいろな行事を企画しております。是非農協で年金を受け取りませんか？

## 病害虫対策・出穂期に注意を… 上川町もち米生産団地組合水稻青空教室

7月21日、上川町東雲の丸山粉乾利用組合において、上川町もち米生産団地組合（組合長 石山浩幸）による水稻青空教室が開催されました。上川農業改良普及センターの桂川普及員を講師に迎え、病害虫対策や出穂期の注意点などについて説明を受け、生産者は熱心に耳を傾けていました。

研修終了後、上川支所にて今後の取組について意見交換会を行いました。



## 積極的に情報交換を… JA上川中央青年部愛別支部町外視察研修



7月19日～20日、青年部愛別支部の視察研修が、1日目は岩見沢市にある（有）岐阜コントラクター、札幌市のホクレン本所、石狩市のホクレン農産広域センターにて、2日目はホクレン札幌野菜センターにて、16名参加のもと行われました。

（有）岐阜コントラクターでは、法人設立に至るまでの経緯や、現在・今後の取り組み方等について座学をした後、実際に機械等を見せて頂き、経営方針や作業方法の違い、今後のあり方等を学ぶことができました。予定の研修時間を超過してしまいましたが、まだまだ時間が足りない程で、熱心に情報交換をしてきました。

「系統であるホクレンって、そもそもどういう所？」という部員の疑問から、今回ホクレン本所・農産広域センター・札幌野菜センターを訪問させて頂く事になりました。

ホクレンの方と生産者でもある青年部員が実際になかなか会う機会がなく、今回直接情報交換ができ、今後につながる研修ができた事が大変意味のある研修になったと思います。

また、上川支部からも3名の参加を頂き、仲間同士の意見交換や支部間交流もできた、とても有意義な視察研修となりました。





## JA上川中央女性部一日視察研修開催される

### JA上川中央女性部上川支部

6月30日、JA女性部上川支部の日帰り視察研修が部員17名の参加のもと実施されました。視察場所は札幌市内で行なわれた、花フェスタ2017札幌と劇団四季のライオンキングです。

札幌花フェスタは今回で25回目の開催となり、北海道内のイベントとしても大変人気があります。中でも、道内の農業高校生によるガーデニングコンテストに出品されたものはどの高校もとても素敵で、私たち女性部も毎年ボランティアで花壇づくりをしておりますがとても参考になりました。普段何気なく植えているお花が、いつもとは違ったように見えるのもこの花フェスタの醍醐味のような気がします。

ライオンキングは庄巻の歌声にのって、アフリカの砂漠に住む動物たちに扮した出演者たちがまるで本物のように動きながら会場全体を埋め尽くしていく様子は、日頃の農作業等で疲れている部員さん達を少しの間別世界へ運んで行ってくれました。劇中に出てくるミーアキャットとイボイノシシの北海道弁でのやりとりが大変おもしろく、皆さんにも馴染みのあのセリフも聞くことが出来ました。

当日はお天気にも恵まれ、無事に計画通りの大変有意義な研修が出来ました。来年も沢山の部員さんに参加いただけるような計画をたてていきたいと思っております。



### JA上川中央フレッシュミズ



7月9日、フレッシュミズ会員7名・子供4名で恵庭市へ視察研修に行きました。

最初の視察先はルルマップ自然公園「ふれらんど」内で、ハスカップ狩りに挑戦。一面に広がった樹に沢山実っているハスカップを食べ歩きながら、子供達も汗びっしょりになって楽しそうに収穫体験をしてきました。

次に「えこりん村」での見学視察。広大な敷地内に「銀河庭園」や動物達とふれ合いが出来る「みどりの牧場」、世界一大きなトマトの木の「とまとの森」、「ガーデンセンター」など沢山の見学スポットがあり、今ちょうど見頃のバラ祭り会場を見学しながら、園内の「森のレストラン天満」にて地産地消テーマの旬菜ピュッフェを美味しくいただきました。

当日は快晴に恵まれ気温も上がり、部員の皆さんや子供達も少しバテ気味での見学となりましたが、貴重な体験や初めて見学出来るものなどもあり、とても充実した視察研修となりました。来年以降も子供達も一緒に楽しめる研修を企画したいと思っておりますので、皆さんのご参加をお待ちしております。

### JA上川中央女性部愛別支部

7月29日、JA女性部愛別支部の日帰り視察研修が部員21名の参加のもと、赤平市にある「赤平オーキッド株式会社」にて開催されました。

赤平オーキッド株式会社は、胡蝶蘭の生産販売をされており、施設としては環境への配慮を行い、地中熱利用のヒートポンプシステムや複層エアハウスを導入。成長別に12棟で管理されており、温度・湿度・日照などの育成管理は自動制御で安定した生産・供給をされていました。

普段見ることのない施設視察となり、部員の皆さんは農作業の合間の息抜きとして楽しいひとときを過ごされたようでした。





## JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

JA北海道大会決議事項の実践やその時々のおピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

### JA北海道中央会

昨年12月の「農協改革」



に関する組合員向け資料に引き続き「准組合員制度」についての組合員向け資料を作成しました。

准組合員利用規制に関して、農林水産省が結論を出す期限の平成33年3月末が迫る中、准組合員利用規制が及ぼす影響を、組合員の皆さん一人ひとりが考えるきっかけとしての活用を目的としております。本資料は、准組合員制度の成り立ちや准組合員が地域を支える実態、規制改革推進会議が准組合員利用規制を迫る背景などを、平易な対話形式により表現しております。中央会のホームページに資料を掲載しておりますので、ご覧ください。

### JA北海道信連

8月に、小学生の親子を対象とした『旬食カレッジ in 旭川「収穫・料理教室」』をJAあさひかわの協力を受け開催しました。

大根の収穫体験、収穫した大根を使った料理教室、農業者による講演等を実施するなど、「食材が畑から食卓に並ぶまで」を体験していただき、農業・食の大切さを伝えることができました。参加者には、「農家を身近に感じた」「また参加したい」など好評でした。



### ホクレン



↑登録はこちらから



LINE@等を活用した生産者向け情報発信サービス「ホクレンインフォメーション」では生産者の皆様に向けたイベントや新商品の情報、生産資材（飼料や農薬など）の価格、スマート農業情報などの営農情報をタイムリーに発信しております。今後とも生産者の皆様に役立つ情報を発信してまいりますので、ぜひお手持ちのスマートフォンやパソコン（<http://hokuren-news.jp/>）から登録ください。

### JA共済連北海道

8月4日、札幌にて「全道LA・スマサポ大会」を開催し、全道JAの中から、平成28年度普及活動で優秀成績を収めたLA38名と、スマイルサポーター11名が登壇し、表彰されました。JA共済では、これからも「3Q訪問活動」と「あんしんチェック（保障点検活動）」の実践を通じて、組合員・地域利用者の信頼と期待に応え、「安心」と「満足」の提供に努めて参ります。



### JA北海道厚生連



組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非ご覧ください。





# するーライフ

## 特別編

### 「スペイン見聞記」

代表理事組合長  
野口昇



イン視察の始まりである。マドリッドからバスで1時間半程のトレドの町が最初の訪問地である。紀元前2世紀にローマに征服されて以来、教会の運命に翻弄された街である。イスラム教徒・ユダヤ教徒・キリスト教徒の激しい戦いの歴史と異文化との融合が見られた街である。遠景としてこの街を見ると、そこは時の刻みを忘れた中世の町並みであった。石畳を踏みしめながら路地を抜けて行

上川地区組合長会のスペイン農業視察へ出掛けた。7月8日羽田発午後12時35分ミュンヘン行きの離陸である。所要約12時間の飛行である。それに更に2時間30分のフライトがミュンヘンからマドリッド空港まで加わる。やはり日本から西欧へは遠い。時計を時差マインス7時間の現地時間に合わせ、深夜のホテルの床に潜り込んだ。朝明けが遅いマドリッドである。朝食には早速生ハムが盛られた大皿がテーブルに並ぶ。黄桃・白桃・西瓜それにパンを加えて食事をとる。スぺ



くと、3000年を要して完成したスペインカトリックの総本山の大聖堂にぶつかる。鉄格子の荘厳なる扉は年に数度の儀式以外は閉じたままである。大聖堂の隣のサント・トメ教会では中世の偉大な宗教画家エル・グレコの作品「聖イサベルの埋葬」を鑑賞した。彼の絵画はマドリッド市内の世界的なブラド美術館にも数多く展示されていた。マドリッド市内アトーチャ駅からの高速鉄道AVEによる、コルトバへの行程を加えて、今回約1500キロを走行したことになる。

る。スペイン内陸部マドリッドから南部地中海を望むバルセロナまで続いた。ここでスペイン農業の現状について触れる。マドリッドに本部を置くスペイン全国農協連合会(CCAE)を訪ねた。日本の農業団体の組織構成と同じような形態で活動をしている。しかし外部機関(金融・保険等)と農業者との斡旋業務や国への補助申請、それに国・EUとの交渉業務組織と理解した。農業者の農産物販売に於いては、コペラティブという組織







が形成され、そこで卸小売が成立し、その他に加工業務また輸送業務が展開されていた。長い行程の車窓からのスペインの田園風景は、オリブ畑かオレンジ畑か小麦畑であった。しかしオリブ畑の遠景は何処までも続いた。年間降水量が極めて低いスペインでは、乾燥に強いオリブこそが国を代表する作物になり得たのだ。

コルトバのイスラム教寺院(メスキータ)やグラナダではイスラム芸術の最高傑作といわれるアルハンブラ宮殿も訪ねた。ともに世界遺産として登録されている。

ムルシアに1泊しバレンシアを目指した。スペインの稲作農場の視察である。農場に入る前に精米施設をこまえるANTONIO・TOMAS社の説明を受けた。近隣の400戸の農家から集荷し精米し小袋詰めをし、半数を輸出すると言った。

商品名にSUSI米も組み込まれていた。その後の農場視察は傑作であった。アルプフェーラ湖の対岸まで小船での遊覧のサービスが付いて来た。地中海の海水が真水化されアルプフェーラ湖へ注ぐ。この水源こそがバレンシア米を産み出すルーツであることを学者先生は教授した



ムルシアに1泊しバレンシアを目指した。スペインの稲作農場の視察である。農場に入る前に精米施設をこまえるANTONIO・TOMAS社の説明を受けた。近隣の400戸の農家から集荷し精米し小袋詰めをし、半数を輸出すると言った。

商品名にSUSI米も組み込まれていた。その後の農場視察は傑作であった。アルプフェーラ湖の対岸まで小船での遊覧のサービスが付いて来た。地中海の海水が真水化されアルプフェーラ湖へ注ぐ。この水源こそがバレンシア米を産み出すルーツであることを学者先生は教授した

かったのである。その水源の恩恵は西瓜などの農産物栽培をも可能にしたのである。翌朝にはこの町のバレンシア中央市場にも足を運んだ。イベリコ豚のもも肉を筆頭にオリブ油そして海の幸・山と積まれた果物、観光客にも人気のスポットとなっている。1500キロの最終地はバレンシアから4時間半のバス移動でバルセロナだった。

研修で訪れた遺跡は大半が世界遺産で、最後に訪ねたのが建築家アントニオ・ガウディの遺作サグラダ・ファミリア(聖家族教会)であった。いまだ建築が続く未完の教会には世界中の観光客が集まっていた。観光と農業の国スペインとは、日欧EPAの合意で今後の不安材料を抱える。欧州連合加盟国EU28が国の1国を訪ねただけである。オリブの果実収穫では多くの労働者が必要とする。中東地域や北米からの移入が労働力



不足を補う。日本でも各方面で労働問題が深刻化している。世界が知恵を出し合う時代が到来している。失業率24〜25%のスペイン、2.8%の日本、数字では表せられない難問が続く。農村人口の減少も根本的な打開策を待っている。中世の遺跡に感慨深いものを感じながら、羽田へのフライトに備えた。

8月17日、欧州で唯一テロのない国、スペインのバルセロナの町は私たちも歩いたサグラダ・ファミリアへ向かう大通りがテロによる大惨事に見舞われた。



JAのあゆみ 8月

- 2日 定例企画会議
- 3日 上川農業試験場公開デー
- 4日 JA青年部上川支部 役員会
- 7日 JA役員視察研修旅行（〜10日）  
あいべつ夏まつり
- 14日 JA上川中央組合員大感謝祭  
（愛別地区）
- 18日 コーパさっぽろ産直交流会
- 19日 営農農地再編事業 安全祈願祭・  
着工祝賀会
- 21日 上川町とほ・大豆部会合同視察研修  
臨時企画会議
- 22日 JA上川中央組合員大感謝祭  
（上川地区）
- 24日 上川町ふる里まつり
- 28日 内部審査協議会監査  
（購買部 1日）
- 30日 JA青年部愛別支部 例会  
第7回定例理事会  
役員作況調査



組合員のうごき

（平成29年7月21日現在）

正組合員戸数 368戸  
 総組合員数 2,452名  
 正組合員数 558名  
 うち団体数 35団体  
 准組合員数 1,894名  
 うち団体数 66団体

第6回理事会

平成29年7月21日開催

- 1 ■報告事項  
組合員の脱退について  
26件の脱退について報告した。
- 2 臨時給与の支給について  
臨時給与の支給について報告した。
- 3 固定資産の取得について  
2件の固定資産取得について報告した。
- 4 営農経済専門委員会報告について  
営農経済専門委員会報告について報告した。
- 5 農家経済対策委員会報告について  
農家経済対策委員会報告について報告した。
- 6 平成29年産米・そば出荷契約金の支払  
出荷契約金支払内容について報告した。
- 7 内部審査協議会監査の結果について  
内部審査協議会監査の結果について報告した。
- 議事  
1 組合員の相続について  
1件の相続について承認された。
- 2 組合員の加入報告並びに組合員資格つ  
いて  
2件の加入について承認された。
- 3 組合員感謝祭の開催について  
両地区の開催日程について承認された。
- 4 規程の改正について承認された。

ホクレン上川給油所  
屋根補修に伴う  
営業時間のお知らせ

9月6日(水) 13:00~19:00

午前中は休業とさせていただきます。  
ご不便をお掛けしますがよろしくお願いたします。

ただいま営農日誌予約受付中!

お問い合わせ・お申し込みは農協へ

36カ月日記  
2017・2018・2019

3年間用  
B5判  
●B5判、256頁  
●ホカがソフトカバー製本  
●年月日曜日入り  
●開封まで4日間3年分を配達

定価 2,700円+税

36カ月日記 横  
2017・2018・2019

3年間用  
B5判  
●B5判、256頁  
●ホカがソフトカバー製本  
●年月日曜日入り  
●開封まで4日間3年分を配達

定価 2,700円+税

365  
2017  
Duet

1年間用  
B6判  
●B6判、256頁  
●ホカがソフトカバー製本  
●年月日曜日入り  
●月曜日始まり

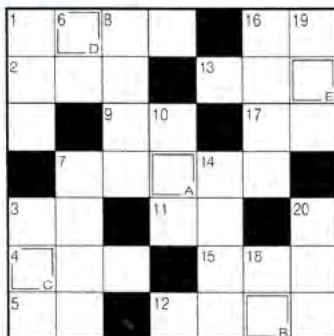
定価 1,300円+税

農繁期  
休日対応のお知らせ

農機センター  
9月23日(土・祝)  
24日(日)  
10月 1日(日)

8:30~12:00  
日直で対応します。  
電話/6-5004

パズル? 頭の体操



タテのカギ

- 1 エジプトを流れる大河
- 3 品物をしまっておく建物
- 6 ビカン、ゴッホ、ルノワールといえば
- 7 山伏が吹き鳴らす物
- 8 えびす種が持っている道具
- 10 手の指を握り込んで作ります
- 14 立ち上がって膝の——運動をした
- 16 水を入れて植物への水やりに使います
- 18 面取りをして落とす物
- 19 首の長い動物
- 20 芋がらともいう食材

ヨコのカギ

- 1 陰曆9月の異称
- 2 船が停泊するときに下ろします
- 3 青く輝く渡るもの
- 4 コに水を含んでカラカラガラ
- 5 会った瞬間に落ちることも
- 7 リスが餌を詰め込むところ
- 9 漢字で書くと雑魚。取るに足らないものこと
- 11 量より重視されることもあります
- 12 角度を測るときに使います
- 13 一帯近い所。——の駅まで徒歩3分だ
- 15 目で見える範囲のこと
- 16 ——外れの花が咲いた
- 17 ——を天に任せて勝負した

パズル? 頭の体操

先月号の  
答え



解答 A B C D E  
ホウセンカ